

万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行 浄土真宗本願寺派 万行寺
住職 山崎信充
〒385-0003
長野県佐久市下平尾4 6 1-1
電話 0267-67-2460

2023(令和5)年

仏暦2566年

11月号

(第146号)

実践運動 総合テーマ『そとつながる ホッがつたわる～結ぶ絆から、広がるご縁へ～』



住職 法話

迷いの世界をお哀れみになる

正信念仏偈に学ぶ
如来所以興出世
唯說弥陀本願海
如来、世に興出したまふ
ゆゑは、ただ弥陀の本願海
を説かんとなり。

「現代語訳」
如来が世に出られるのは、
ただ阿弥陀仏の本願一乗
海の教えを説くためであ
る。

『無量寿経』(現代語訳)

如来はこの上ない慈悲の心
で迷いの世界をお哀れみにな
る。世にお出ましになる
わけは、仏の教えを説き
述べて人々を救い、まことの
利益を恵みたいとお考え
になるからである。

と、説かれているところです。
この「如来」とは、釈迦如来
(お釈迦さま)で、ここから
来(お釈迦さま)で、ここから
は、人として唯一人、目覚
め悟りブツダとなられたお釈
迦さまのことです。親鸞さま

は、お釈迦さまが世に出られ
た本当のお気持ちを表したお
経は、この『無量寿経』で
あると言われ、「出世本懐の
経」とも言われています。

そして、「弥陀本願海」と
阿弥陀仏の本願の広さと深さ
を海に喩えられています。親
鸞さまは、様々な著述の中
で海の喩えをよく使われてい
ます。ご自身の著、『教行
信証』(現代語訳)には、

「海」というのは、はかり
知れない昔からこれまで、
凡夫や聖者の修めたさま
ざまな自力の善や、五逆・
謗法・一闡提などの限りな
い煩惱の水が転じられて、
本願の慈悲と智慧との限り
ない功德の海水となること
である。これを海のようにで
あるとたとえる。

と「海」の徳を讃えられます。
数限りない煩惱にまみれた水
であつても、広く深い海に流
れ込むと転じて本願の慈悲と
智慧による功德の海水になる
というたとえです。
また、正信念仏偈の、こ
の後のほうにも、

凡聖逆謗齊回入
如衆水入海一味

という句が出てきます。

凡夫も聖者も、五逆のも
のも、みな本願海に入れば、
どの川の水も海に入ると一
つの味になるように、等し
く救われる。(現代語訳)
と、ここでも本願海にふれて
います。

インターネットやスマホの
普及もあり、近代社会は、豊
かさや便利で快適な社会を目
指して、驚くほど急速に変化
しています。反面、人の世は荒
む一方のような気がします。

「闇バイト」という言葉も生
まれ、犯罪が身近で起こる時
代になってしまいました。人
の世はいつの時代も同じで、
人間のお釈迦さまの説法に
は、人の世を哀れみることが
ばかりですし、親鸞さまも
「五濁悪世」とまで言われ、
如来の真実の教えに出遇つて
くださいと願われました。
そのことが、次の句に続け
ていきます。



浄土真宗 新 仏事のイロハ

四、法要・行事

— 仏縁を深めよう —

「法事の進行」

施主は何をすればよいのか？

法事を営む際の準備と進行についての注意点を述べてみましょう。まず、前もって行うことは、お寺の都合を聞いて日時を決め、故人と縁のある親戚、知人に案内を出すことですが、問題は、当日の法要の準備と進行です。最近はお勤めを始める時になっても、施主や家族の方はじっと座っていて、仏前の準備を僧侶任せにされる 경우가多くなりました。

しかし、法事というのは、故人と縁ある方がたが仏法僧の三宝供養の心から行うものです。つまり、仏さま（仏）とその教え（法）、教えを伝える人びと（僧）を心から敬



い、仏さまへの報恩感謝の気持ちで営むわけです。したがって、集まった親戚・縁者が僧侶を招き、報謝の心でお勤めに臨むのであり、法事の準備進行はその代表である施主が行うというのが役目です。

それでは、具体的にどう進めればよいかを述べましょう。

① まず、お招きした僧侶のために、お勤めの時に座るお仏壇前の座のほかに、休んでいただく座を用意します（僧侶が到着したらそこへ座っていただく）。

② 次に、準備が整ったら、僧侶には法衣の着替えを案内し、自らはローソクや線香に

火をつけ、焼香用の香炉に火だねを入れます。回し焼香をするのであれば、火だねを入れた香炉と香盒、それらを乗せるお盆を用意しておきます。

③ これらの準備が整えば、参拝者、続いて僧侶に所定の座（僧侶は控えの座）についてもらい、開式の挨拶をします。そして、僧侶にお勤めをお願いするわけです。

④ 読経中の焼香は僧侶の指示に従い、手際よく行います。

⑤ 読経が済んでも、御文章の拝読や法話がありますので、静かにお聴聞しましょう。

⑥ 法話がすむと、味わいも含めて僧侶にお礼を述べ、閉式となりますが、お斎（食事）があれば、その旨を告げ、準備します。お斎はできれば精進料理がよいでしょう。

なお、法事の際は門徒式章（イラスト参照）をかけましょう。

「浄土真宗 新 仏事のイロハ」末本弘然著／本願寺出版社刊より」

編集後記

先月は、お寺の報恩講法要でした。四年ぶりの開催のご案内でしたが、参拝者はなく寺院のみでお勤めを致しました。数限られたご門徒ですが、このようなことは承知しておりました。◆ご門徒の参拝は無くとも、報恩感謝のお勤めを続けていきます。来年度の参拝をお待ちしております。

年忌法要表

1 周忌	2022 (令和 4) 年	23 回忌	2001 (平成 13) 年
3 回忌	2021 (令和 3) 年	25 回忌	1999 (平成 11) 年
7 回忌	2017 (平成 29) 年	27 回忌	1997 (平成 9) 年
13 回忌	2011 (平成 23) 年	33 回忌	1991 (平成 3) 年
17 回忌	2007 (平成 19) 年	50 回忌	1974 (昭和 49) 年